

【特集】ゾットする話

MY FAVORITE BOOK vol.6

図書館豆知識 第7回 「LibrariE」

だより カウンター

2022. 7



大谷大学 図書館

第8号

ゾツとすゐる話



いゐるのいゐないの (怪談えほん)

京極夏彦作/町田尚子絵/東雅夫編

所在：図2F・絵本コーナー 請求記号：SSPJ/⑦Ky3

古い日本家屋は薄暗く、その陰はいろいろな想像を掻き立てる。

誰かがいるような気配…。子どもが持つ恐怖への嗅覚…。その感覚を否定しない祖母…。

少しずつ変わる猫の絵…。そして天井を見上げると…。

寝る前の子どもは、この本を読んではいけません。



はこ (怪談えほん)

小野不由美作/nakaban絵/東雅夫編

所在：図2F・絵本コーナー 請求記号：SSPJ/⑦O67

少女の周りには開かない“はこ”。“はこ”からは音がする。

そして“はこ”が開くと中身は空っぽ…。

“はこ”はどんどん大きくなり、風景はどんどん無機質になる。

ゆっくり読んでいくと、どんどん背筋が寒くなる作品です。

怪談現場東海道中 (イカロスのこわい本)

吉田悠軌著・写真

所在：図1F・学生選書 請求記号：SSPJ/①Y86

「怖い話」が苦手だ。と言いつつとても怖そうな本を選んではしたが、読んでみると「怖い話」の奥には「悲しい話」が見えてくる。

本書は怪談自体とその舞台となった場所の現場検証で構成され、検証部分にはその土地の記憶やそこに生きていた人間の記憶、それも悲しい記憶が綴られる。

「怖い話」も「悲しい話」もフィクションかもしれないし、それも含めてひとつのエンターテインメントとするのも良かったが、そういう記憶を「怖い話」というフォーマットで多少脚色しながらも継承してきたのではないかと考えたりすると興味深い。でもやっぱり怖いものは怖い。



恐怖大物産展 —全国怪談オトリヨセ—

黒木あるじ著

所在：図1F 請求記号：000/0/Ku75



「怪談とはその土地が持つ記憶の断片なのかも知れない」

全国の津々浦々の土地、都道府県に伝わる「ご当地ならではの」怪談を短編でまとめたものです。

背筋がゾットするような話のもとより、ほのぼのとした話や悲話などバラエティー豊かな内容となっております。

各話の最後にはキーワードに則って解説がされており、各土地の風習や文化、物語の背景なども知ることができてオススメです。

怪談を通じて今一度、日本の文化や風土・伝承などに触れてみるのもいかがでしょうか。

記憶屋

織守きょうや著

所在：図1F 請求記号：000/0/071



忘れたい記憶を消してくれるという「記憶屋」。

主人公は「記憶屋」という存在を信じていなかったが徐々にその存在を探り始めるようになる…。

第22回日本ホラー小説大賞・読書賞受賞作！

夢十夜

近藤ようこ漫画/夏目漱石原作

所在：図1F・学生選書 請求記号：SSPJ/◎K073

「こんな夢をみた」で始まる不思議な物語。怪奇な世界が漫画によって怖さを引き立たせます。

人の心にある不安や恐怖が夢によって幻想的に描かれます。



そして誰もいなくなった

アガサ・クリスティー著/清水俊二訳

所在：図1F 請求記号：000/0/C58

イギリスの孤島に建つ、贅を尽くした邸宅に招き寄せられた10人の男女。

不気味な童謡になぞらえた殺人が次々と起こり、そして最後には誰もいなくなる…。

疑心暗鬼に陥る人間の心理を巧みに描いた、アガサ・クリスティーの名作です。



My favorite book vol.6

飛ぶ教室 エーリッヒ・ケストナー作/高橋健二訳

所在: 図1F・課題 請求記号: 909/195/-20



同じ寄宿学校で生活する5人の少年たちが、クリスマスの祝いに上演される劇「飛ぶ教室」の稽古に励むなか、さまざまな事件を経験して成長していく物語です。

児童文学と聞くと、子ども向けの本かと思われるかもしれませんが、大人になるうちに忘れつつある大切なことを思い出させてくれる作品なので、大きくなってからこそぜひ読んでいただきたいです。

「ふたりのロッセ」や「人生処方詩集」などで知られる、ドイツの作家エーリッヒ・ケストナーの代表作です。

(図書館員・Kさん)



図書館豆知識

ライブラリエ 第7回「LibrariE」



ライブラリエ
LibrariEは 電子ブック が読める図書館です

自宅で 移動中に 隙間時間に

小説や実用書にレシピ本...就活本も電子で読める!

ずっときれいな状態で読めるから安心♪

QRコードを読み取り[学認はこちら]をクリックしてログインしよう!

※OUNETのアカウントが必要です。



持ち運び楽々♪

カウンターだより 第8号 2022年7月発行 発行者: 大谷大学図書館 閲覧チーム